

News Release (10)



【平成28年8月4日(木)午後2時発表】

▼日吉町郷土資料館夏季企画展「鮎の道」を開催しています

▼概要

本年3月に「森の京都～森・川・里に守り継ぐ自然と文化」をテーマとした京都丹波高原国定公園が誕生しましたが、当館の立地している日吉町天若地域もその範囲に含まれています。

そうしたことから、当館では天若地域の特色でもある川のめぐみを生かしたくらしを紹介するものとして、夏季に行われていたアユ漁をテーマとした展示会を開催しています。とりわけ同地域においては、アユモチと呼ばれた人々が生きたままの鮎を桶に入れ、てんびん棒で担ぎながら、京都の嵯峨まで運ぶ仕事がありました。こうして運ばれたアユは、「世木のアユ」として京都の料亭などで人気を博しました。

本展では、アユモチが使用した道具や通った道を紹介し、古文書や絵図など南丹市周辺地域におけるアユの歴史をふりかえります。室町時代からの名物である丹波のアユについて、理解を深める機会となれば幸いです。

【開催期間】平成28年7月16日(土)～8月28日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【場 所】南丹市日吉町郷土資料館

【休 館 日】毎週水曜日

【入 館 料】大人200円、高・大学生150円、小・中学生100円

(20人以上の団体は2割引、南丹市内在住の小・中学生は無料)

【展示資料】

- ・アユ漁の道具
- ・アユに関する古文書、絵図、アユを運んだ道の現況マップ

▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市日吉町郷土資料館 担当：犬持

(電話 0771-68-0069)